

# 社説 拓殖病廢止は手段のみ

政府はいよいよ拓殖務省を廢したり至當の處置にして  
滿天下に異議はなかる可し抑も我輩が其廢止を主張し  
たるは廢止を目的として主張したるに非ず目的は臺灣  
統治上の改革にして其改革の手段として先づ拓者の廢  
止を主張したるのみ左れば我輩に於ては今回の廢止を  
改革の第一着手と認むるものにして今後の處置を如何  
任し第一流の政治家をして其任に當らしむるみどなり  
試に今之政客中に其人を求むれば西郷氏の如き先年  
臺灣の征討に從事したる緣故もありて名聲威望鶴内に  
著しき其上に大膽無頼者の性質は事う新領地の統御  
に適當ならんれば此人なぞふそ差當り然る可しと思  
へども其人選に就ては敢て誰れ彼れを云はず兎に角に  
第一流の政客を推すふどして之に無上の權力を附し  
恩威並び行はれて統治の目的を達せしむ可きのみ或は  
施政の方針に就ては務めて體系を旨として彼の舊聞古  
俗は其體にして之に觸るふどを戒しめ鶴民をして眞  
實心の底より歸屬せしむ可しとの說あり即ち恩の一方  
のみに重きを置きたるものなれども一方に威の恐る可  
きものなくして單に恩を施さんとす只彼等をして押れ  
しむるに過ぎず鶴民統御の法に非ざるなり既に恩威並  
び行ふど云々族遂撫育の手段も固より必要なれども一  
方には歎痛烈日、他をして突然たらしむるの感を示さ  
れ可らず即ち今日の弊を以て形容すれば專制壓抑の  
實を行ふものにして世間或は異議もわらんなれども古  
今東西いづれの國を問はず新附の人民を御するに苟も  
専制壓抑の實を缺て目的を達したるものあるや否や或  
は英の殖民地ば云々、佛の屬領は云々など他の例に口  
を藉るものなきに非ず單に其土地を收めて利益を絞り  
取るのみの目的ならんには其例に從ふも差支なしと雖  
も臺灣の我國に於けるは全く事情を殊にして其土地を  
利すると同時に外に對して之を守るの必要は毫も内地  
の手心に至りては全權の當局者を得て之に一任せん  
とするものなり或は又總督に全權を付して怡も專制の  
實を行はしむるときは自から私利を營むの餘地を與ふ  
蓋だ可ならずして病死者の割合は内地に比して甚だ多  
のもわらんなれども小病難瘳取るに足らざるの説のみ  
抑も鶴地の現狀を見れば萬事不便の其中にも氣候風土  
も病氣の害をならざる限り諸々に自から利するは勝手  
で行くものあらんや論者の如きも居ながら窮屈の論は  
し難ち其土地に住するは實際に生命の危險を冒しつゝ  
あるものなれば何とか利するの目的もなきに誰れか好んで  
行くものあらんや論者の如きも居ながら窮屈の論は  
次第にして或は商業上に事業上に大に利したりとて何  
唱ふれとも自から行くを好まざるみどならん左れば荀  
も病氣の害をならざる限り諸々に自から利するは勝手  
で行くものあらんや論者の如きも居ながら窮屈の論は  
利を謀る可きものなり或は鶴鹿人をして局に當らし

むるときは其利は目から薩人に歸し長州人をして當らしむるときは自から長人に歸す可し臺灣の利を擧て薩長人に専らにせしむるは甚だ不都合なりとて此處にあり又例の藩閥論を持出さんか是れ又聞くに足らざる苦悶にゐそあれ薩人と云ひ長人と云ひ等しく日本人のみ日本人の利は即ち日本國の利にして誰れ彼れを問ふの必要はわる可らず自がら危險を胸して事に當るもののが自から利す至當の事にして毫も怪むに足らず我輩の如き此邊の事は一切不間に付して顧みざるものなれど實際には自から法律の制裁もありて不正の事は容易に行はる可さに非ず假令ひ當局者の自由に一任したりとて公共の利益を擧げて全く一身の私に收むるが如き不始末なきは我輩の確に保證する所なれば臺灣王に封じたる覺悟を以て一切の權力を委任し思ひ切て手腕を盡ばば單に臺灣改革の手段と認めて更らに目的の實行を保すものなり

○地方事情 (一册二)

金融は先づ緩慢なる方にしても日歩は大抵三箇内外を

重しものも現今は二百五十圓位に暴騰せり此突飛を心  
せし所以を聞くに讃岐鐵道の丸龜高松間延長線路は發  
停車場より一直線に東に向ひ市中屈指の場所即ち演舞場  
通町魚屋町葭町風袋町及瓦町等を貫通せしを以て是等  
の線路に當る地所當物は非常の高價を以て買收せらるゝ  
殊に第十一師團を當地に設置せらるゝとの風評起り  
以來一層騰貴の度を高めたり加之當地は土地繁華の地  
合には多度津琴平町等に比し低廉なりしを以て此等の  
個の原因湊合して大突飛となせしなり併し現今は價  
も沈定して大變動なし隨て昨年一昨年頃は賣買投機  
盛なりしも目下は一般に鎮静せり  
●物價● 米其他の諸物價は近年非常に騰貴せり乃ち白米  
一斗一圓三十錢麥一斗八十六錢となれり其他日用品

二三割乃至六七割を高めたり殊に著しく高價なるは魚類にして師圖設置以來需要頗る倍蓰せしを以て薄利に衣食する者は鮮肴の屬に上るみど羈なり然れどもじしに人足等の細民は却て平氣にして散て痛痒を感じざりが如し。  
•  
労働者の賃銀は二三年前に比し殆んど倍額に騰貴中には二倍以上に上るものあり然れども師圖設置以其土木建築事業の爲めに需要益々多く供給不足の有様にて賃銀は尙ほ騰貴せんとするの模様なり數年前迄は飼飼者の雇主を求める今は之に反し雇主の勞働者を募るも容易に手に入らざる姿にして労働者と資本主との關係全く一變せり  
連絡の状況 譲岐の北方一帶海に沿ひ舟楫の便わり讃岐多度津港(丸龜を距る西一里)の如きは四國屈指の良港にして貿易の集散縣下第一とす加之同地には讃岐鐵道本社あるて一線は第十一師圖地なる普通寺と過ぎて有名なる今

# 車電を撒水の育線



さも鐵道開通後は人力車並に徒步旅客の減少否寧ろ皆無となりしより國道に沿たる村落は頗る寂寥を極むるに至り又琴平より南方阿波に達する道縣は所謂四國新道の一部分にして今を去る十年前四國各縣知事は極力開墾せしものにして近年阿波池田地方の物産蓬草は此新道により琴平に送り同地より多度津を経て重に大阪地方に輸送するに至れり近年琴平高知間に土讃鐵道の計畫わら又伊豫檍山より多度津迄四國鐵道布設の舉わり此等鐵道開通の際には西臘に於ける運輸の状況は大

# 刀比羅宮の水撒き車